

「社団法人 日本口腔インプラント学会認定施設」

東京形成歯科研究会

&インプラント国際情報

H. 21. 5. 14 (THU)
No.6

原稿募集中

発行

編集 東京形成歯科研究会
企画 オクデラメディカル
発行者 奥寺 元

東京都北区王子 2-26-2-3F
TEL 03 (3919) 5111
FAX 03 (3919) 5114
E-mail: okudera@carrot.ocn.ne.jp
http://www.tpdimplant.com/

東京形成共催事業

市民講座とシンポジウム盛会裡に終了する

市民公開講座
ミスユニバースと美しい顔造りにたずさわって!!

日 時.....2009年2月15日(日)
市民公開講座.....10:00~12:00(無料)
シンポジウム.....13:00~17:00(有料)
場 所.....神奈川歯科大学横浜研修センター(7F 会議室)

奥寺 元 氏
Dr. マッキンストリ 高木 元

「口腔疾患としての顎におけるアτροφイーを考える」

院長 李 昌一 神奈川歯科大学教授 飯村 彰 神奈川歯科大学解剖学

口腔臨床の立場から 顎顔面外科の立場から

奥寺 元 王子歯科美容外科クリニック院長 久保田 英朗 神奈川歯科大学
東京形成歯科研究会会長 顎顔面外科分科教授

高橋 理 神奈川歯科大学教授 磯瀬 武史 日本歯科先端技術研究所長

予防歯科学の立場から 形態学関係の立場から

木本 一成 神奈川歯科大学
健康科学部口腔保健学分野教授 高橋 常男 神奈川歯科大学
人体構造学講座解剖学分野教授

高橋 常男 神奈川歯科大学教授 古澤 利武 フルワイアインプラント研究所長

顎骨と骨粗鬆症研究の立場から 再生顎医学PRP&PPP&PRF

鹿島 勇 神奈川歯科大学
顎顔面外科分科教授 蘇 正亮 台湾歯科大学教授
台湾YAN MING 大学教授

パネルディスカッション 進行: 松尾 雅斗、渡辺 孝夫

主催: 神奈川歯科大学 人体構造学講座解剖学分野 後援: 社団法人日本口腔インプラント学会認定施設 東京形成歯科研究会
プロジェクト研究アソシエーション
教授 高橋 常男 部長 奥寺 元
オクデラメディカルインスティテュート

お問い合わせ・申し込み先
オクデラメディカルインスティテュート 〒114-0002 北区王子 2-26-2
TEL: 03-3919-5111 FAX: 03-3919-5114 URL: http://www.oji-shika.jp/pc/

奥寺先生に初めてお会いした1997年、私が49歳の頃から現在まで、先生が私の人生に与えて頂いた影響がいかに大きかったことかいつも思います。当時までの私は長年普通の歯科医として保険診療で毎日身を減らし、たまに少しの自由診療で満足していた生活を送っていました。しかし、40歳も半ばになつてご多分に漏れず患者さんの数は絶頂期に比べ4分の1まで落ち込み、当然収入の落ち込みも激しくなつて来ましたので、自由診療の比率を少しでも上げる

なければならぬと思っていました。インプラントを少しずつやりかけていたところ奥寺先生にお会いして、当時から先生が海外研修や海外学会活動に邁進している姿を見て、非常に大きなカルチャーショックを受けました。研修会で先生からサインスリフトなど当時から最高水準のインプラント治療のレクチャーを受け、どうしても教えを請いたいと申し出たところ、快く100時間コースにオブザーバーとしての参加を勧められて小躍りして東京に通つたものでした。それからいくつもの海外の学会にお誘い頂くようになり、それまで海外は私の人生では観光の目的でしかなかったのですが、それから海外での学会での勉強や資格試験などワクワクして何度も一緒にさせて頂きました。そして当時から先生の海外国内を問わず人脈の多さにびっくりしてしました。それからの私はインプラントが第一の趣味と思えるほどとなり、趣味となつてきました。そんな私も61歳になり、最近では体力的にオベシカ出来なくなつて来ました。私がこのところ患者さんにとって術中・術後楽な「低侵襲オペ」に

こだわることになってきたところ、奥寺先生が最近取り組んでおられる「骨学会」や「PRP学会」のことはお聞きしていたのですが、その流れでの2月12日の「東京医科大学でのDr. SuとDr. Sebastianによる歯内・骨の再生顎医学セミナー」2月15日の「市民講座・ミスユニバースと美しい顔造りにたずさわって」「シンポジウム・口腔疾患としての顎におけるアτροφイーを考える」を先生が企画されるのを聞きまして、非常に興味深く積極的に参加させて頂きました。両日とも満員の盛況ぶり、内容も私の期待以上のもので大きな刺激を受け、受講後すぐ「PRP学会」へ是非参加させて頂きたいとお願いしたところ、先生の懐の深さで「PRP学会」を秋にでもやりましょうか。」と云つて下さいました。2月12日のDr. Sebastian、12日15日両日に拝聴した台湾の大学教授Dr. Su、15日には顎顔面外科学権威の久保田英朗神奈川歯科大学教授、予防歯科学・健康科学・口腔保険学権威の木本一成神奈川歯科大学准教授、私たちがいつもお世話になっている形態学・人体構造学・解剖学権威の高橋常男神奈川歯科大学教授、ビスフォス

フォネートと骨粗鬆症研究・顔面診断学・放射線学権威の鹿島勇神奈川歯科大学教授など、非常に多岐にわたる先生の人脈の多さに今更ながら改めて関心させられました。また、2月15日当日、午前・午後の総合同会として奮闘し、ご自身も臨床家の立場から講演されました奥寺先生のパワーに驚かされました。この2月12日・15日のイベント参加は私にとって明日への大きな活力源になりました。

「顎骨アτροφイーを考える」シンポジウムを受講して

東京形成歯科研究会会員 名古屋市開業 鳥村 敏明

コラム

最近ジャーナリズムに反するマスコミ記事が目につく。医療に関する記事は、時間をかけて客観的に取材し、社会性と将来を見据え、時期がきたら総括する事が鉄則であるが、一連の新聞報道には目に余るものがある。例えば、20年前に新聞のキャンペーンで「抜かない歯医者はいない歯医者」と言う触れ込みで躍した。その背景にあったものは、一部の歯周病を得意とする先生の意見を丸呑みにした記事であつた。今でもそのような先生がいるが、あまり学会の場で登場しないので独自の理論を持つてマスコミや商業誌に登場するものであるから、若い純粋なDr達がすぐ影響を受け、マインドコントロールされる。抜かない歯医者の事件は大変医療現場に禍根を残した。ある面では、現行の保険制度では残存歯に対して保険が給付されるため、抜かない事が収入に関係すると喜んだ先生がいるが、治療の見込みが無い進行形の歯周病は医学的に見地から原発病巣を除去することとは当然である。しかし、気の弱い先生は抜けなかった。そのため、お年寄りに誤嚥性肺炎が蔓延してきた。

最近になってある任意団体の個人的な抗争をあたかも公益団体のように取り上げて学会の場に混乱を招いた。その新聞社の記者は抗争側の知人であつたため、取り上げたと言う。はたまた診療報酬をたまたま現実的な実態に即した診療行為に対して、単なる数値をとらえ、あたかも不正があつたかのように報道したことは記憶に新しいことである。歯科界の低迷を取材する中で、単に社会科学的な疾病構造を考えなくて生活苦の苦境に立たされている事を面白おかしく取り上げ、テレビのマスコミにも同様に若いものは吉本の仕事で最高と思わせる内容ばかりで、子供たちは目標となるものを見失っている。これもマスコミの悪影響である。昔の人の言葉に「末は博士が大いかに」と言う言葉は、聖職の意義を問いただしている。手前味噌であるが、私共の聖職は必要で子供達に夢と希望を与えなければならぬ。問題は誰が私共の聖職をダメにしているのかと考える事が大である。

最近、以前からインプラント治療を行っていた私の患者様が治療中のガンが再発した。インプラント治療途中であることを気にして、もしもの事があつたら先生にお金を払って上部構造をお棺に入れてほしいと家族に遺言を残したと言う。家族が葬儀の前の忙しい中、お金を持つて取りにきた。私はその事に大変胸が熱くなり、本当に喜ばれるインプラント治療であつたと再認識し、患者様のお心を私共の心の宝物として家族に丁寧に御礼を申し上げた。このような聖職をダメにするやからと、私の歯科医としての生命をかけて戦う決意を新たにしたい。

奥寺 元 記



『市民公開講座及びシンポジウムに参加して』

東京形成歯科研究会 江東区開業 中村 雅之



去る2月15日(日)、
神奈川歯科大学横
浜研修センターに
おいて、午前の部
は市民公開講座

『ミスユニバースと美しい顔造りにたずさわって!!』午後の部は、シンポジウム『口腔疾患として顎におけるアトロフィーを考える』をメインテーマに開催された。

午前の市民公開講座『ミスユニバースと美しい顔造りにたずさわって!!』では、俳優である宝田 明氏が、自ら俳優として意識している事、また長期にわたるミスユニバース日本代表選手大会の総司会などの経験を織り交ぜながら美と密接な関係にある口腔領域の重要性を述べられた。宝田氏の美に対する意識の高さ及び歯科に対する知識の多さに驚かされた。次に医学博士であるマッキンストリ高木先生は美容外科の臨床で、実際に使用している最新式の各種レーザー機種の説明及び多数の臨床例を提示した。また、この分野での技術進歩の速さなどの話を織り交ぜながら「皮膚、美容で悩みをお持ちの方も、希望を持っていればいつかは治せる日が来ると思う。」と締めくくった。



宝田 明氏の講演



シンポジスト一同

午後のシンポジウム『口腔疾患として顎におけるアトロフィーを考える』は、

奥寺 元先生(王子歯科美容外科クリニック総院長・東京形成歯科研究会会長)、久保田 英朗先生(神奈川歯科大学顎顔面外科学分野教授)、木本 一成先生(神奈川歯科大学健康科学講座口腔保健学分野准教授)、高橋 常男先生(神奈川歯科大学人体構造学講座解剖学分野教授)、鹿島 勇先生(神奈川歯科大学顔面診断科学放射線学分野教授)、蘇 正亮先生(台湾血液リサーチセンター所長・台湾YAN・MING 大学教授)らによる6講演が順に行われ、それぞれ各分野の第一人者でもあり、とても内容の濃いものであった。

今回のシンポジウムの中でも私自身の臨床で取り入れている再生療法の講演をして頂いた蘇 正亮先生「再生顎医学PRP&PPP&PRF」の内容は大変興味深いものであった。前回、2月12日(木)東京医科歯科大学大学院講義に東京形成歯科研究会認定講習会補講として事前に聴講させて頂き、講演を2回にわたり聴けた事はうれしく思う。我々がインプラント補綴を実施する場合、決して条件のよい部位ばかりではなく、粗な骨質、骨量

不足な悪い条件の場合が多いが、患者からの要求は単なる機能回復から最近では審美的回復の要求も高くなってきている。さらに侵襲の少ない術式、外科処置回数の減少と治療期間の短縮まで日に日に要求は高まりつつある。そこで、再生療法

の応用はキーポイントであると思われる。再生の原則には、Scaffold (足場・基質)、細胞 (骨芽細胞、間葉系細胞)、活性物質 (グロースファクター、成長因子、PDGF・TGF・β・BMPなど) が三大要素と言われており、臨床の場では、活性物質に血小板からの組織の再生や修復のプロセスで重要な役割を司る活性化している増殖因子を含む血漿と自家組織フィブリンを獲得する事を目的とし応用しており、良好な結果を得られている。

この会全体を通じ、こだわりを持って歯科医療に従事する事の重要性や、奥寺元先生が以前より唱えている歯科医療の技術が美容外科の分野に大きく影響する立場である事、さらに患者の満足度を上げる事で私たちの未来を獲得していくという思いを強く感じさせられた充実した一日であった。

是非、今後もこのような意義あるシンポジウムに参加して行きたい。



神奈川歯科大学学長の久保田英朗先生と施設長

東京形成歯科研究会主催 2008年度認定講習会 を受講して

鯨岡 創一郎



認定講習会集合写真

1年という長い期間でありました。が、様々なことを学ぶことができた。内容も充実し、他ではできない経験ができたと思います。認定講習会は今回で終わりましたが、更なる勉学が必要だと感じています。ですので今後も宜しくお願い致します。最後になりましたが、奥寺先生、小嶋先生をはじめ諸先生方のご健康とご多幸をお祈り致しまして答辞の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



著者と名誉顧問小嶋先生と会長

2009年4月25・26日
第30回日本歯内療法学会
開催される

主幹・神奈川歯科大学口腔治療
学講座歯内療法学分野

東京形成歯科研究会顧問の小嶋 榮一先生と共にテーブルクリニックに参加して来た。小嶋先生は同学会に閣下され、その立場から二人とも議論ができれば歯科医学に貢献できるとの考えであった。また、大会会長の石井 信之教授とは同窓で旧知の中であり、テーマがインプラントに絡む歯内とのかわりであった故、参加した。

小嶋先生とは補綴学会が学会の立場からインプラントのテーマを組んだ時、参加した経緯がある。インプラント絡みの特別講演会等で座長を務められた日本歯内療法学会の重鎮中川 寛一教授の目に私と小嶋先生お揃いの赤いジャケットが映ったのか、「本日はインプラント学会からも参加され、その経験をテーブルクリニックで発表予定ですので、そちらも参考にして下さい」と大変気を使って頂いたのには恐縮のいたりであった。個室でのテーブルクリニックは落ち着いた環境で、ゆっくりと話す事ができた。テーマは「歯内療法にかかわるインプラントの影響」で、この分野は未だ未知なることでもあり、これからもっと研鑽していかねければならない事と認識しており、今後歯内療法学会ともコラボレーションの必要性を感じた。



第30回歯内療法学会テーブルクリニック

歯科界を想う

東京形成歯科研究会 福島県開業
西山 和彦



平均的な歯科
医師のイメージ
は、点数が(低い
ところ)で決

められているために、手抜きをする。点数の低いことが、きちつとした治療が出来ないことの言い訳になっている。本当は、自分の技術・知識が低いためにちゃんとした治療ができないのに。開業当初に、技術的な修練をおろそかにしたまま、それでも大した問題が起きないことを学習してしまふ。手抜きが当たり前になった歯科医師は、もう、きちつとした包括的な治療は出来ない。

日本歯科医師会の平均的構成員はこんな人達ではないでしょうか。優れた人は外に出てしまふ。そんな集団が点数を上げると言ったって、厚労省は耳を貸さないと思う。足元を見定めなくて、やれ中医師協が云々と。知識は当然大事ですが、歯科という医学の分野は、技術はとても大事だと思ふ(鬼手佛心)。それなのに、大学が国家試験の合格率だけを気にして、技術の教育を疎かにしたまま、世に送り出している。

「お金に、お金を投資して、お金を生む」狂乱の経済的パラダイムの下、マスコミや歯科関連企業は利潤を上げるために、時に不道徳とも言える行動をし、若い歯科医師が企業のカモになります。

真の歯科医療が出来るよう、若い後輩に何かしてあげたいと思います。

『(社)日本口腔インプラント学会九州支部、
沖縄大会と西表島エコツアーリズムに参加して』

東京形成歯科研究会会員 長野県開業 北村 豊



多忙な日々の臨
床から開放されて
学会に参加するこ
とは、新たな学問
の情報を得る場と

して環境の異なる場所に行く事になり、
歯科という狭い世界から私達を引き出し
てくれる意味からも有意義であり、そし
てその地域の自然の持つ癒しは私の人生
に潤いを与えてくれ、生きている実感が
沸いてくる。

今回も同じ理念を持つ奥寺会長と共に
行動を起こした。奥寺会長とは世界の自
然を駆けると言う事で、マレーシアの熱
帯雨林の探勝やアメリカのフロリダ半島
ではマナティとも触れ合い、サンディエ
ゴでは海の自然など、内外を含めて行動
を共にさせて頂いている。多忙なことか
ら、どれも学会がらみで何かと時間を工
面しての有意義で貴重な時間となってい
る。

第26回(社)日本口腔インプラント学会九
州支部学術大会の沖縄での開催の2月
21・22日に合わせて、日本の最南端で自
然の宝庫の八重山諸島探検の旅を奥寺会
長が企画して下さい。学会は本研究会
からは2演題エントリーしての参加で、

国際色豊かな沖縄らしく中国からの参加
もあり、チタンに天然真珠をコーティン
グされたものを発表されており、興味深



八重諸島を望む



高速クルーザー



ヤマルハコガメ



天然記念物の西表トカゲ



糸状のナメクジ



八重島のカンムリわし



木の上のアリの巣



滝の下で会長と共に

いものであった。奥寺会長がすかさず質

問に立ち、どのような方法でコーティン
グするのかと言う質問にはっきりとした
答えがなかったが、懇親会の時に発表者
から色々と聞き出し、貝の中にインプラ

ントを入れてのコーティングと言う事が
判明した。すなわちその素材は炭酸カル
シウムであり、チタンとはHAコーティ
ングプラズマ照射と違い、真珠層として
しっかりコーティングされる事が特徴で

あった。問題は炭酸カルシウムが生体の
中にオッセオインテグレーションにおい
て、どのような形で起こるのが興味があ
った。懇親会は沖縄会員による太鼓
エーサ踊りが披露され、参加者一同は感
銘を受けた。

22日には午後の便で石垣島に飛び、石
垣を観光後、私の東京農大の学生時代の
友人が石垣に定住して農業をやっており、
その友人と40年振りに会う事ができた。

彼とは学生時代に伊豆七島の御蔵島に世
界中でこの島にしか棲息していないミク
ラミヤマクワガタや他の昆虫の調査に行
った事があり、ちょうど奥寺会長が私
の母校でもある神奈川歯科大学の学生時
代、予防活動に来ておられた時代と重な
り、奇遇さを感じた。

翌日は早朝から若い頃よりは非行って
みたかった亜熱帯に位置し島の90%が
ジャングルで覆われている西表島に渡っ

た。港には、ベテランのガイドさんが待

機してくれており、すぐに目的地の川と
山に向かった。そこには亜熱帯の豊かな
かけがえのない自然が私達一行を向かえ
てくれた。私にとっては久しぶりに昔住

んでいたマレーシアのジャングルを彷彿
とさせる一時であった。河川のツアーに
はカヌーをこいで干潟に上陸。コメツキ
ガニや貝の生態を観察した。奥寺会長と
息もぴったりので、カヌークルージング
は楽しかった。夜のジャングルツアーで
は、すでにホテルがでており、とても神
秘的であった。宿泊は、日本最南端の温

泉が沸くホテルに一泊した。

翌朝は早起きし、ホテル近くのジャン
グルを散策していると、体長17〜18cmの
セマルハコガメがハイビスカルの花を食
べているのに遭遇した。早起きは三文
の得〳を味わいながら、そのカメの奇妙
な行動を観察した。セマルハコガメは本
土に棲息するカメと違って、腹側の甲羅
が折れ曲がる蟻番状になっており、外敵
がくると頭・脚・尾を甲羅の中に引っこ
めて、体全体が硬い甲羅で覆われる完全
防備の姿となる。私達のインプラント治
療もセマルハコガメのごとくパーフェク
トを目指したいものである。とかく大自
然から学ぶ事は多く、今回も有意義な思

平成21年度東京形成歯科研究会主催、(社)日本口腔インプラント学会認定講習会日程表

予定日程		講師	時間	研修内容
1	4月19日(日)	奥寺 元 先生 塩路 昌吾 先生	8	オリエンテーション 各種インプラント
2	5月24日(日)	津末 壹 先生 奥寺 元 先生	8	インプラントの臨床変遷 トラブルの原因
3	6月21日(日)	古澤 利武 先生 懸田 利孝 先生	8	インプラントを埋入する前に 歯科インプラントの黎明期の頃
4	7月12日(日)	浜田 信城 先生 和泉 雄一 先生	8	インプラントにおける微生物学について 現代歯周病学の最近の傾向と実際
5	8月30日(日)	荻原 力 先生	8	顎顔面咬合学
6	9月13日(日)	青木 秀希 先生 奥寺 元 先生	8	インプラント理工学 インプラント埋入の実際
7	10月18日(日)	田口 明 先生 奥寺 元 先生	8	顎骨の画像診断 顔面再構成としてのインプラント
8	11月29日(日)	小川 優 先生 福西 啓八 先生	8	分子整合栄養医学 インプラント社会学
9	12月19日(土)	大学解剖学教室	6	解剖学
10	12月20日(日)	大学解剖学教室	8	実習と臨床解剖
11	平成22年 1月24日(日)	河奈 裕正 先生	8	小外科手技と拡大するインプラント療法 心肺蘇生法実技
12	2月21日(日)	星野 清興 先生 白川 正順 先生	8	各種インプラント 有病者のインプラント療法
13	3月28日(日)	木本 一成 先生 奥寺 元 先生	8	論文の書き方・専門医の道
		研修時間合計	102	

※ 講師の都合上、変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

奥寺施設長による海外、日本縦断講演ツアー開催される。

各地区会員および友好支援者モデレーターにより顎再建およびインプラント治療の集大成の内容で時代を先取りしたアンチエイジングを啓発歯科医学の領域拡大を狙う先駆的理論!!

奥寺施設長に、大いに期待し歯科界に新しいうねりに成るよう多くの参加を募りましょう!!

講演会 口腔美容外科学の理論と実際 フェイスコントロールと口腔ケア



医学博士 奥寺 元
(社)日本口腔インプラント学会認定施設
東京形成歯科研究会会長

口腔美容外科学概論 -顎再建 口腔美容外科 審美歯科 口腔インプラント療法-
口腔周囲組織刺激療法 -口腔粘膜刺激療法 関連諸筋刺激療法 リンパ流出療法
(オーラルエステ・オーラルリフレンジ) 表情筋療法顎関節刺激療法 唾液腺刺激療法 歯内メラニンコントロール-

永年の研究と臨床から生まれた歯科領域拡大の集大成 若き歯科医と一歩前進する歯科衛生士・助手のために啓発

理論と実際のONEDAYコース

受講料 歯科医・医師…25,000円 衛生士・助手・エステシャン・介護士…15,000円
その他業者…30,000円

全国縦断講演ツアー 札幌・青森・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・福岡・台北・韓国・マニラ・米国

受講者の声 確実に領域が拡大され経営が楽になった Dr.O.T
患者さんが生きいきと生きようと努力する姿を支える内容 女医 Dr.Y.T
来なくなる歯科診療所を目指しての講義 衛生士 DH.A.M
今後の歯科医療の時代を見据えての新理論 女医 Dr.K.S

私達が各地区講演会のモデレーターです!



マニラ 8/7
Dr.Josephlin



東京 10/11
小嶋 栄一
小嶋歯科クリニック院長



仙台 10/25
古澤 利武
古澤歯科医院院長



札幌 11/1
増木 英郎
エルム駅前歯科医院院長



青森 11/3
昆 聡
昆歯科医院院長



名古屋 11/8
鳥村 敏明
テルミナ歯科クリニック院長



神戸 11/22
秦 和義
秦歯科院長



大阪 11/23
林 成謙
林歯科院長



横浜 12/6
木本 一成
神奈川歯科大学准教授



台北 2/7
Sebastian Tseng



韓国
金鴻基



米国
Dr.Nordquist

会場	
東京	北とびあ
仙台	仙台アエル
札幌	北海道歯科医師会
青森	八戸グランドホテル
名古屋	安保ホール
神戸	ポートピア
大阪	TBホール
横浜	神奈川歯科大学研修センター
福岡	12/20 会場未定

共催:東京形成歯科研究会((社)日本口腔インプラント学会認定施設)※学会認定講習会募集中
国際美容外科学会・口腔美容外科アカデミー ※毎週木曜夜、実技半年コースあり

お問い合わせ

〒114-0002 北区王子2-26-2-3F 王子歯科美容外科クリニック内
オクデラメディカルインスティテュート
TEL:03-3919-5111 FAX:03-3919-5114

申し込み

○をつけて下さい		歯科医	衛生士	助手	エステシャン	その他	FAX:03-3919-5114	
名前		TEL				地区		
住所 〒								